

宗谷管内 幌延町立幌延中学校

1 学習活動の概要

ICTを活用し「ウポポイ」の職員と双方向の遠隔授業や、「ウポポイ」の各施設の見学での学芸員へのインタビューや体験活動を通して、アイヌの人たちの歴史・文化等についての理解を深めるとともに、自分たちの住んでいる地域の伝統や文化についての関心を高める教育活動を行いました。

2 取組の様子

(1) 事前の学習

ICT（Web会議システム）を活用し、「ウポポイ」と学校をオンラインで接続した双方向の遠隔授業を行い、アイヌの人たちの歴史や暮らし、言葉や仕事等について説明を聞いたり、質問をしたりしたことにより、生徒はアイヌの人たちの歴史・文化等への関心を高め、個人の探究課題を設定しました。



【「ウポポイ」の職員による説明】

(2) 「ウポポイ」での体験活動

アイヌ民族博物館の見学や体験学習館での食や芸能、言葉などに関する体験、学芸員へのインタビュー等を通して、生徒は個人で設定した探究課題について情報を収集し、アイヌの人たちの歴史・文化等についての理解を深めました。



【「ウポポイ」で情報収集する生徒】

(3) 事後の学習

「ウポポイ」の職員との双方向の遠隔授業において、個人の探究課題について調べたことを発表し、職員から講評をしてもらったことにより、生徒はアイヌの人たちの歴史・文化等についてより一層理解を深めるとともに、自分たちの住んでいる地域の伝統や文化等についての興味・関心を高めました。



【「ウポポイ」の職員へ発表する生徒】

3 生徒の感想等

- ・アイヌの人たちの歴史や文化等を後世に残していくためには、インターネットや書籍で調べるだけではなく、専門的な職員の話や伝統芸能を体験したりするなど、実体験を通して理解を深め、自分の言葉で伝えられるようにしていくべきだと思いました。また、「ウポポイ」での学びを通して、自分たちの地域の文化を伝えていくことも大切だと思いました。
- ・事前学習で「ウポポイ」の職員の方から、アイヌの人たちの歴史や昔の暮らしなどのお話を聞いて疑問に思っていたことが、「ウポポイ」での見学や体験などを通して、解決することができました。また、見学後の発表会でも「ウポポイ」の職員の方から講評をいただき、アイヌの人たちの歴史や昔の暮らしなどについてより深く理解することができました。